

問題点を見つける、サイバーセキュリティ監査。  
煩わしく膨大な作業であることが、問題でした。

Atlasは、サイバーセキュリティアセスメントに係る監査を実施する上で発生する煩わしい作業を、シンプルかつ自動化することができます。



# Atlas

- サイバーセキュリティアセスメントにおける監査プロセスをWEB上で**一元管理**
- 問診票の**回答状況を常時確認可能**
- 設問ごとに関連するデータを保存することができ、プラットフォーム上で**証跡管理が可能**

# 定期的に実施されるサイバーセキュリティ監査において 管理者側・回答者側の双方で発生する膨大な作業ロードを大幅に削減

## メリット

- 各ガイドラインに準拠したテンプレートが利用可能!
- 監査プロセスの自動化により、大幅な効率化!
- SecurityScorecardとの連携により、迅速に回答内容を検証!

## 5

## つの行程を効率化

### 1 問診票の項目設計

自社の問診票の利用が可能で、さらにカスタマイズ可能な各ガイドラインに準拠したテンプレートが予め用意されています。

### 2 監査計画の立案

SecurityScorecard(\*)を利用してセキュリティ運用状態の外部評価を事前入手。取組みの優先度を定める際の参考にできます。

### 3 問診票の発行・回収・集計

回答状況や回答結果に対する評価の進捗をAtlasの画面上でまとめて把握することができます。また、問診票が回答されない場合は自動督促されます。

### 4 問診結果の検証

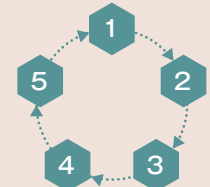
SecurityScorecard(\*)との連携で問診結果の検証が可能になります

### 5 関係者と連携して問題点を改善

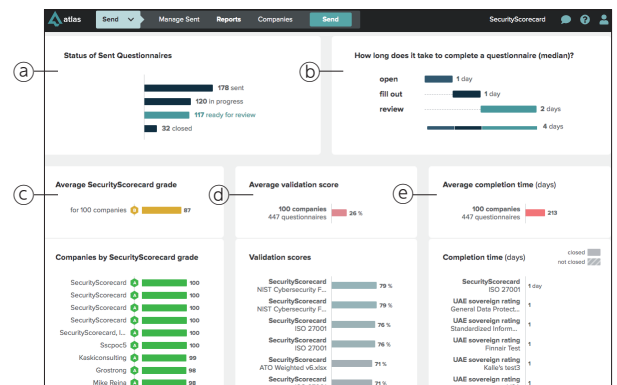
問診票の項目に係る関係者をAtlasに招待することができ、各項目ごとに担当者をアサインすることで、適切なコミュニケーションをとることが可能となります。

(\*) SecurityScorecardを別途導入する必要があります。

## サイバーセキュリティ 監査サイクル



## レポートと検証



- a 回答ステータス毎の会社数
- b 回答ステータス毎の所要平均日数
- c 各グループ会社のSSC評価ランク
- d 各グループ会社のアセスメント回答スコア
- e 各グループ会社の回答日数

「Atlas」のみでの導入が可能です。下記「SecurityScorecard」と併せた運用をお勧めいたします。



# SecurityScorecard

ドメインをインプットする  
だけのセキュリティリスク  
可視化ソリューション

- 企業のドメイン情報から、インターネット上でデータを自動収集
- 海外企業や取引先なども瞬時に評価
- SaaS型サービスであり、いつでも自由に評価可能
- システムに負荷をかけないため、準備等は一切不要
- ハッカーの視点で外部から企業を詳細分析

本チラシは、AtlasとSecurityScorecardの概要をご紹介したもので、サービスに関するすべての事項を記載しているものではありません。詳細は、下記の連絡先までお問い合わせください。

お問い合わせ先

東京海上ディーアール

ソリューション創造本部 サイバーセキュリティラボ

東京都千代田区大手町1-5-1

大手町ファーストスクエア ウエストタワー23階 〒100-0005

TEL 03-5288-6591 E-mail: pirates@tokiorisk.co.jp

※記載の内容は2021年7月現在のものです。内容は予告なく変更する場合がございます。  
※記載の会社名、製品名、サービス名およびロゴは、各社の商標または登録商標です。